

ゼロカーボンナビゲーター養成講座 全日程終了

長野県センターは1月25日、ゼロカーボンナビゲーター養成講座第4回（最終回）「つたわる伝え方」をオンラインで開き、意識をそっと一押しするという手法「ナッジ」の活用について理解を深めました。講師は中部大学中部高等学術研究所国際ESD・SDGsセンター研究員の原理史氏〔写真右・2段目左〕。手元に用意したチラシが“伝わるチラシ”かどうか、10項目で自己評価するワークショップも交え、「伝える場の作り方と仕掛けを工夫し、ナッジという仕掛けも活用を」とまとめました。受講者からは「ゼロカーボンに向け、まずは自分でできることから少しずつ取り組み、会社に取り込みたい。社内教育資料でもナッジを意識したスライドづくりを心掛けたい」と感想が寄せられました。



養成講座は昨年9月から始まり、脱炭素社会づくりを担い、地球温暖化防止活動推進員となりうる、ゼロカーボン実践のナビゲーター養成が目的です。気候変動や省エネ・再エネ、気候変動と防災などをテーマに全4回のオンライン連続講座のほか、デジタル地球儀「触れる地球」体験講座〔写真左〕も実施。製造業の企業担当者など計40人を超える方々が受講しました。全4回の受講者には修了証をお送りします。

*第4回講座で紹介された「ナッジ活用ガイド」「ナッジ活用チェックノート」は、一般社団法人環境創造研究センターのホームページ (<https://www.kankyosoken.or.jp/issue.html>) からダウンロード可能です。



SDGs 時代のゼロカーボンと環境保全活動

環境カウンセラー（環境省認定） 太谷優子



以下2つの素朴な疑問です。

1. ゼロカーボン≠カーボンニュートラル

ここでカーボンとはCO₂のC=炭素とのこと。

私は、はじめてゼロカーボン（脱炭素）と聞いた時「炭素がゼロになったらどうしよう」と思いました。炭素は有機物を作る元素で、生物を構成する重要な役割も担う物質だからです。

カーボンニュートラル=温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること、との説明（環境省 HP）も、地球温暖化の原因である温室効果ガスには炭素化合物でない気体も含まれます〔図参照〕ので、温室効果ガスニュートラルというのが適切な言い方だと思います。

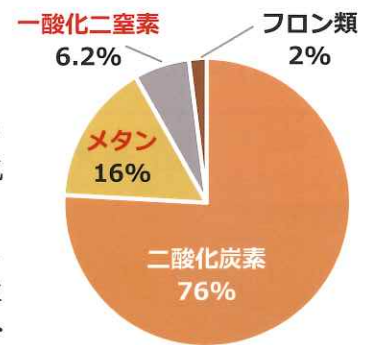
2. 温暖化対策と原発

CO₂削減対策として、原発政策が進んでいるということに憤りを感じます。確かに、COP26で化石賞を受賞してしまった日本で、化石燃料に頼らずに電力を賄うためには、今のところ原発も必要かもしれません。

しかし、私は「菜の花プロジェクト」に関わり、福島の方々が、原発事故後に大変ご苦労されたことも目の当たりにしてきました。核のゴミ問題も未解決のままに原発を推進して良いのでしょうか？

長野県気候危機突破方針でも、まずは省エネ、次に再生可能エネルギー拡大等の戦略的シナリオが策定されております。SDGs ウォッシュ※とならぬよう、皆で知恵を出し合って行動していきたいですね！

※SDGsに取り組んでいるように見せかけること



〔出典〕IPCC 第5次報告書より
人為起源温室効果ガス総排出量に占めるガス別排出量の内訳
(CO₂換算ベース) 2010年の割合



長野市センター 公式 Twitter はじめました

@nagano4ecomame



わが社の SDGs ——— 北陸コカ・コーラボトリング株式会社

北陸コカ・コーラボトリングでは、「多様性の尊重」「地域社会」「資源」の3つのサステナビリティフレームワークをもとに、9つの重点課題の解決につながる活動に優先的に取り組んでおります。[上図]

今回は「地域社会」について、地域貢献と環境美化意識の向上を目的として1979年から続く社員一斉美化奉仕活動をご紹介します。

長野県と北陸 3 県を販売エリアとする弊社では、「第42回社員一斉美化奉仕活動」を2021年10月9日(土)に行いグループ社員700名以上が参加しました。長野県内では、国道沿いや事業所周辺道路、諏訪湖周辺などで約180名が散乱ごみの回収を行い、90リットルごみ袋47袋分のごみを拾いました[写真中]。今回から新たに回収量をごみ拾い SNS「ピリカ」[写真下]に登録し、可視化することにも取り組んでいます。

その他にも、清掃ボランティアの輪はひろがっており、社員有志で諏訪湖アダプト・プログラムに参加し、諏訪湖岸や道路沿いの除草・清掃活動を行っています。

今後も私たちが製造販売している飲料容器の積極的な回収・リサイクルに努めるとともに、地域の豊かさやつながりに感謝し、持続可能な地域社会に貢献できるよう、清掃活動を続けていきます。詳しくは、弊社HPよりサステナビリティレポートをご覧ください。

(<https://www.hokuriku.ccbc.co.jp/?p=3352>)



Pirika

北陸コカ・コーラボトリング
1979年に始まった「北陸コカ・コーラグループ全社一斉美化奉仕活動」。当社は1962年に前身である北陸飲料株式会社を富山県砺波市で創業して以来、ふるさとの豊かな水の恩恵を受け、清涼飲料の製造・販売を行ってきました。私たちはこの豊かな水がなければ事業活動が継続できないということを認識し、感謝の気持ちと責任をもって資源を次世代につなぐ役割があると考え、社員自発活動を通じてサステナブルな活動を継続してまいります。

プロフィール 投稿

これまでの投稿
ありがての距離 人への影響度 新ったごみの量
715 24,677 24,570 L

投稿

北陸コカ・コーラボトリング
1979年に始まり、今年で42回目の北陸コカ・コーラグループ全社一斉美化奉仕活...

(総務人事統括部 総務部・広報部 高山 寿郎)

年末恒例「カレンダープレゼント会」報告 (2021年12月)



北信支部の様子 2021.12.28
長野市・もんぜんぷら座

一昨年は会場を分散して行った諏訪支部のみの開催だった年末恒例の「カレンダープレゼント会」(1998年開始)でしたが、今回は感染予防を図りながら他の4支部も開催することができました。2年振りの開催となった地区では、カレンダー等が集まるか心配されましたが、皆様のご協力でほぼ前回並みに行うことができました。ただ、密を避けたいとの意識の表れでしょうか、来場者は少なめでした。

支部別頒布数

地域	カレンダー	手帳
北信	6,282	561
中信	3,847	464
諏訪	2,233	403
伊那	2,010	310
飯田	1,380	143
合計	15,752	1,881
2019	17,437	2,495
累計	267,880	46,292

【発行元】〒380-0835 長野市新田町 1513-2 (82 プラザ長野)

□「エコシン」は「エコ信州」の略称です
2022年3月3日発行

●一般社団法人 長野県環境保全協会

TEL:(026)237-6620 FAX:(026)238-9780 E-mail:nace@janis.or.jp <http://nace.main.jp/>

●長野県地球温暖化防止活動推進センター

TEL:(026)237-6625 FAX:(026)238-9780 E-mail:nccca@dia.janis.or.jp <http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/>

●長野市地球温暖化防止活動推進センター

TEL:(026)237-6681 FAX:(026)237-6690 E-mail:eco-mame@dia.janis.or.jp <http://www.eco-mame.net/>

